TOTO

施工説明書

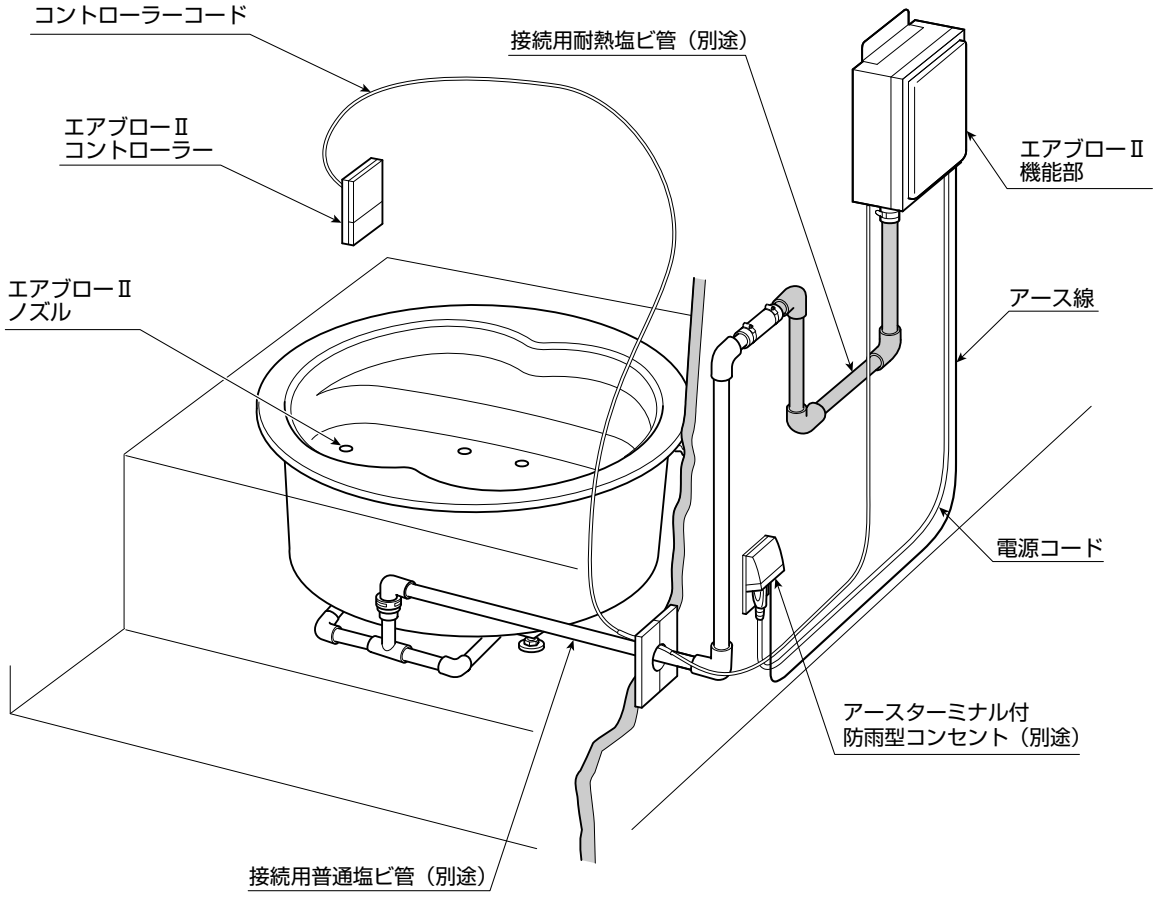
2009.3版

スーパーエクセレントバス ＜エアブローⅡ＞

SUPER EXCELLENT BATH

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

■ このたびはTOTOスーパーエクセレントバスをご採用いただきましてありがとうございました。
■ 製品の機能が十分発揮されるように、この「施工説明書」の内容にそって正しく施工してください。
なおこの説明書は、エアブローⅡの施工のみを記載しています。浴槽本体・水中照明Ⅲ・ブローバスSXⅡの施工については、それぞれの施工説明書をご確認の上、正しい施工をお願いします。
■ 浴槽据付・機能部取付など各種施工と電気・水道工事は工程を十分に打合わせのうえ行ってください。
■ 工事完了後は、お客様に操作説明を行い、「取扱説明書（保証書付）」をお渡しください。
なお、「保証書」には必要事項を必ず記入してください。
■ 施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がありますので、ご了承ください。



もくじ

1. 安全上の注意 ……4～8
2. セット内容 ……9
3. 寸法図および仕様 ……10
4. 施工上の注意 ……11～13
4-1 施工上の注意 ……11
4-2 機能部設置場所の選定 ……13
5. 施工手順 ……14
6. 施工要領 ……15～26
6-1 下地づくり～浴槽据付け ……15
（1）ブローバス防振ゴム脚の取付け 別売品施工 ……15
（2）配管取出口の壁開口と防水処理 ……15
（3）コントローラー取付位置の確認 ……16
6-2 機能部の設置と接続 ……17
（1）エアブローⅡ機能部の設置／接続管の取付け ……17
（2）電気工事 ……22
（3）確認・試運転・漏水確認 ……23
6-3 仕上げ ……24
（1）コントローラーの取付け ……24
（2）配管取出口カバーの取付け ……26
6-4 最終確認 ……26
7. 別売品 ……27

1. 安全上の注意

●安全のために必ずお守りください。

取付け工事の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

この施工説明書では、製品を安全に正しく取付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表　示	意　　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

下に示す表示は施工説明書や製品に表示して、工事業者の方に安全に正しく製品を取付けていただくためのものです。内容をよく理解して正しく取付けてください。

表　示	意　　味
	行ってはいけない「禁止」の内容です。
	必ず実行していただく「強制」の内容です。
	必ずアース線を接続してください。

取付け工事完了後、施工説明書に記載の「確認及び試運転」にしたがって各部の点検を行い、器具のがたつきや漏電・漏水など安全上の不具合がないことを確かめてください。

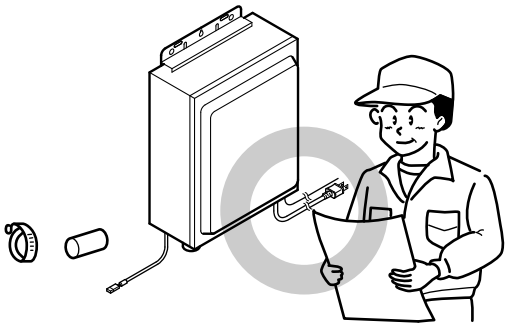
製品に同梱されている取扱説明書（保証書付）は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

必ず実行

設置は、施工説明書にしたがって確実に行う

設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。また、漏水により家財などを汚したり、腐らせるおそれがあります。

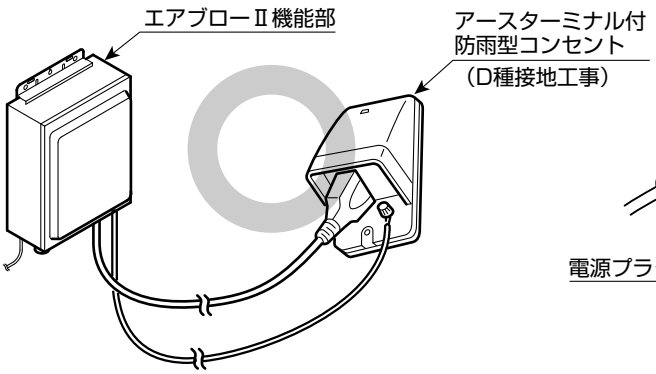


アース線

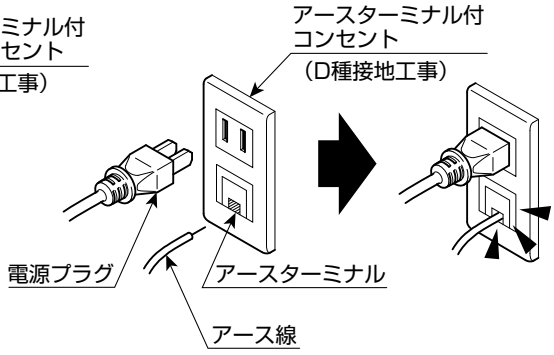
電気工事は、関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行う
また、この製品は、必ずD種接地工事を行ったアースターミナル付コンセントまたはアースターミナル付防雨型コンセントを使用する

誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

〈屋外設置の場合〉



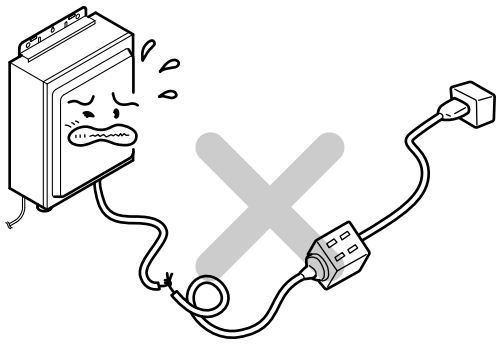
〈屋内設置の場合〉



禁　止

電源コードやコントローラーコードの加工をしない
また、電源コードへの延長コードを使用、他の器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因となります。



必ず実行

機器の設置は、質量に十分耐える強度のある場所に施工説明書通りに確実に行う

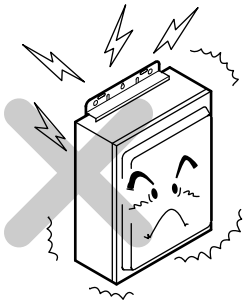
設置に不備があると、機器の落下、転倒によりケガをするおそれがあります。

⚠ 警告

必ず実行

メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木造の造営物にエアブローⅡ機能部を取付ける場合は、機能部と造営物とは電気的に接続しない

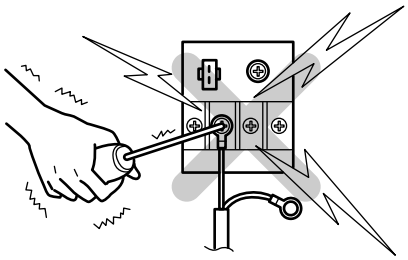
感電や発熱・火災の原因となります。



必ず実行

配線接続時は、機能部の電源が入っていないことを確認する

感電の原因となります。



⚠ 注意

禁　止

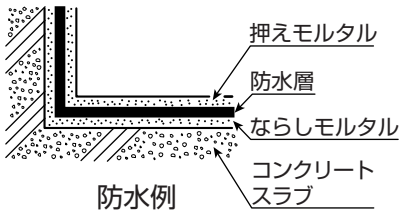
浴槽搬入の際、浴槽配管やノズル本体などを持ったり、硬いものをぶつけたりしない

漏水により家財を汚したり腐らせるおそれがあります。

必ず実行

必ず防水層を設ける

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

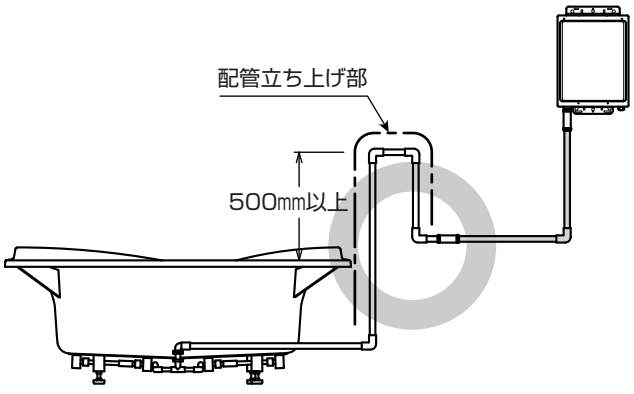


防水例

必ず実行

配管途中に必ず立ち上げ部を設ける

工事に不備があると感電の原因となります。また、機能部が故障するだけでなく、漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

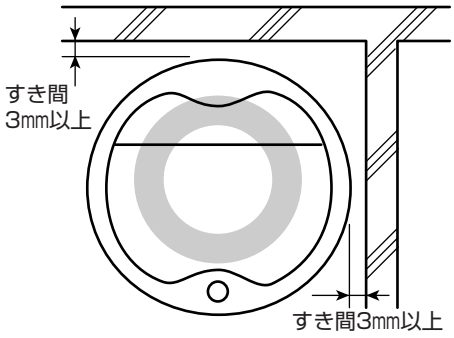


⚠ 注意

必ず実行

浴槽を据付ける際、壁・タイルと浴槽との間には、3mm以上すき間を設ける
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実に行う

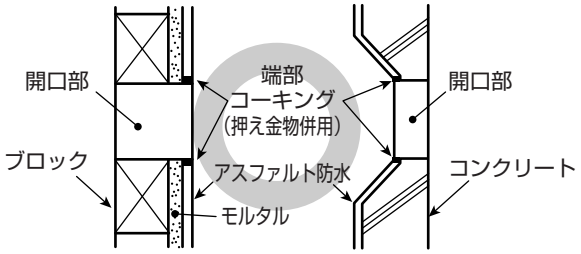
浴槽の熱膨張により、タイルなどの壁材を破損したり、漏水により家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。



必ず実行

配管・配線の取出開口部の防水処理は確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

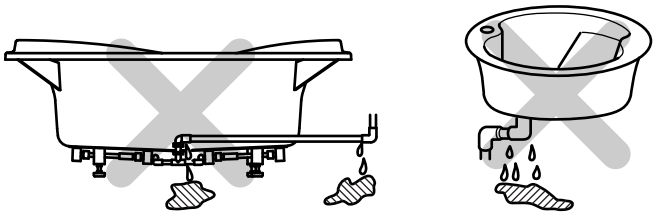


防水処理例

必ず実行

接続管・排水配管の取付けは、手順にしたがって確実に行う

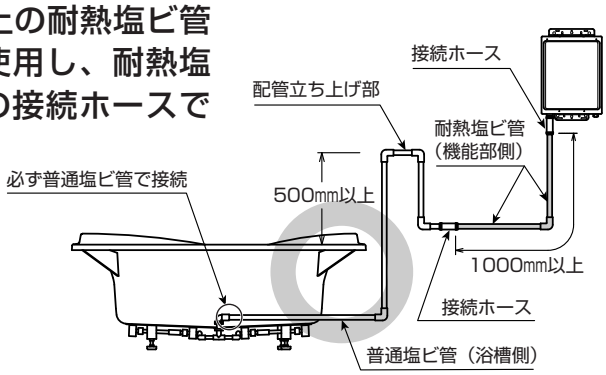
工事に不備があると漏水し、家財を汚したり腐らせるおそれがあります。



必ず実行

エアブローⅡ機能部を設置する場合は、機能部側の配管には1000mm以上の耐熱塩ビ管を、浴槽側には普通塩ビ管を使用し、耐熱塩ビ管と普通塩ビ管は必ず同梱の接続ホースで接続する

指定以外の接続管を使用すると接続管が劣化破損し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

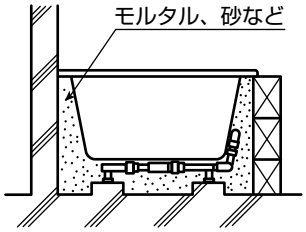


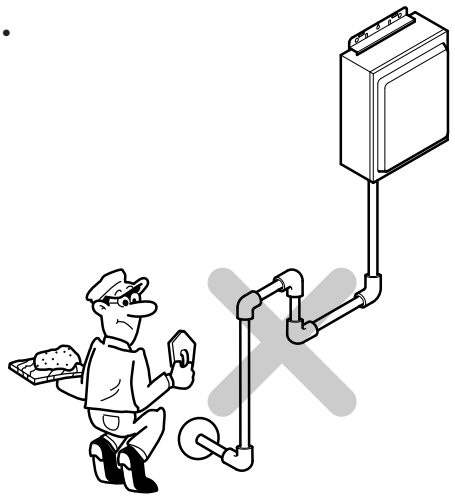
⚠ 注意

禁　止

モルタルなどで浴槽裏面・浴槽リム・配管・配管取出口を埋め込まない

破損の原因となります。

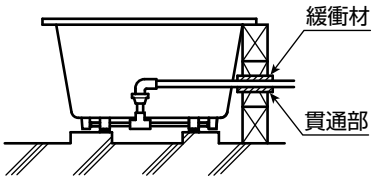




必ず実行

デッキ、壁に配管を貫通させる場合は、緩衝材を巻いて配管を保護する

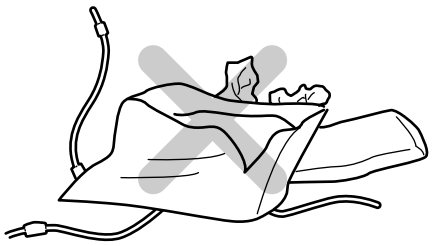
破損の原因となります。



必ず実行

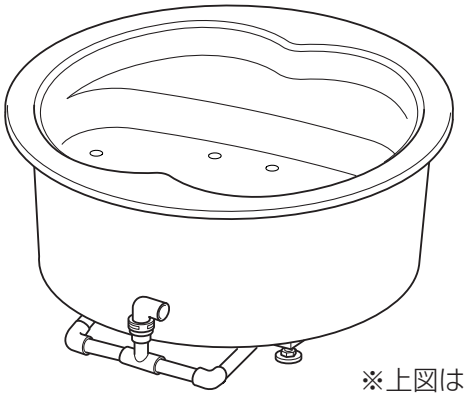
開梱後、不要になった梱包材はすみやかに処分する

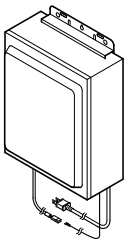
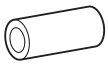
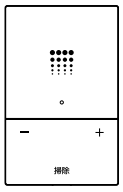
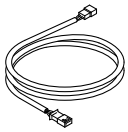
ビニール袋などは子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。
また、木枠・釘・段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。



2. セット内容

●製品を開梱しましたら、下記内容にそって部品と個数を確認してください。

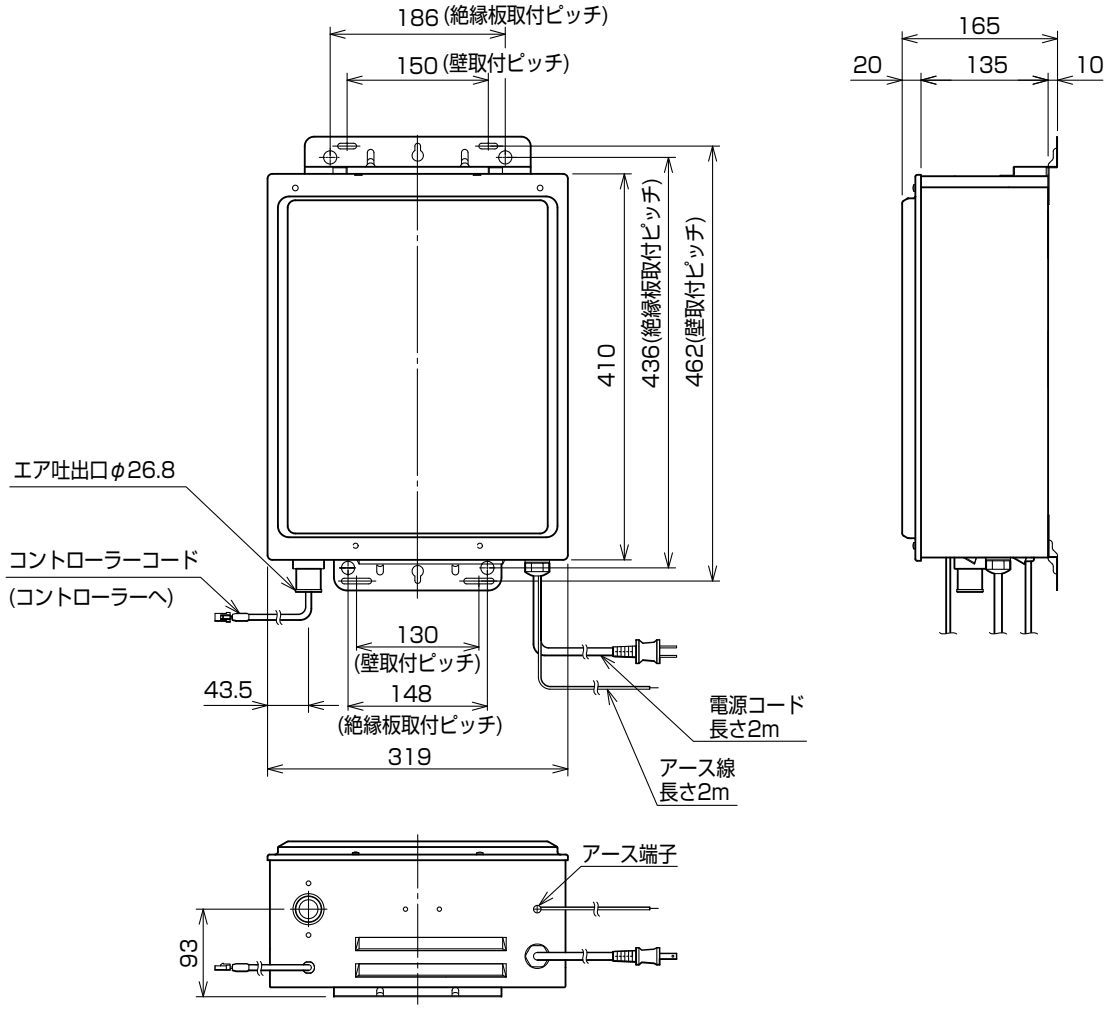
	品　名	個数	浴槽本体形状	個数
浴槽本体部	施工説明書（浴槽本体）	1	 ※上図はPVI1420	1
	施工説明書（エアブローⅡ）	1		
	取扱説明書（保証書付）	1		
	型　紙 （PVI1610 PVI1400 PVI1820のみ PVI1840 PVI1530 PVI1540）	1		

	品　名	形　状	個数	品　名	形　状	個数
エアブローⅡ機能部	機　能　部		1	ホースバンド		4
				ホース		2
	コントローラー	 タッピンねじ（φ4.2×25）2本	1	配管取出口カバー		1
				カールプラグ		6
	コントローラーコード（8m）		1	取付ネジ（φ3.5×25）		6

※接続管用塩ビ配管部材（VP20（直管）・TS継手（20A）・普通塩ビ用接着剤・配管支持用サドルバンド・配管用緩衝材）および「耐熱塩ビ配管部材（HTVP20（直管）・HTTS継手（20A）・耐熱塩ビ用接着剤）配管保温材」は現場で手配願います。

3. 寸法図および仕様

エアブローⅡ機能部



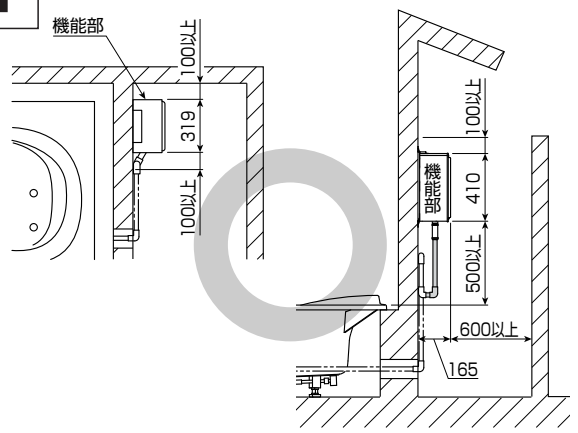
品　　名	エ ア ブ ロ ー Ⅱ 機 能 部
外　寸（mm）	319（幅）×165（奥行）×410（高さ）
本 体 質 量	7.2kg
定 格 電 圧	AC100 V
定 格 周 波 数	50Hz／60Hz（共用）
定 格 電 流	2.5A
定格消費電力	175W
設 置 場 所	壁掛形：屋内（浴室外）・屋外

4. 施工上の注意

4−1 施工上の注意

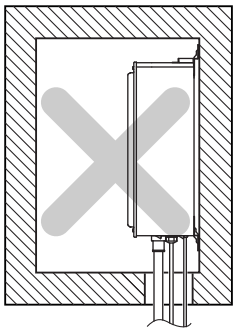
●エアブローⅡの施工において必ず守ってください。

1 機能部は点検できる場所に設置する



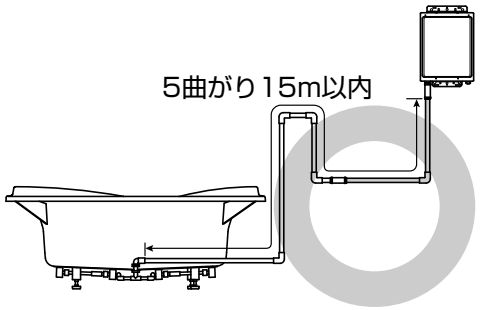
（点検できなくなります）

2 エアブローⅡ機能部は 密閉した場所には設置しない



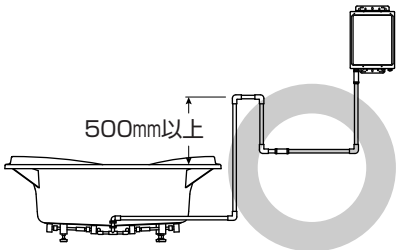
（エアブロー運転ができなくなります）

3 エアブローⅡ機能部から浴槽までの配管は、長さ20m(1曲り=1m 例：5曲り15m)以内とする
また、配管途中が下がらないように配管を支持する



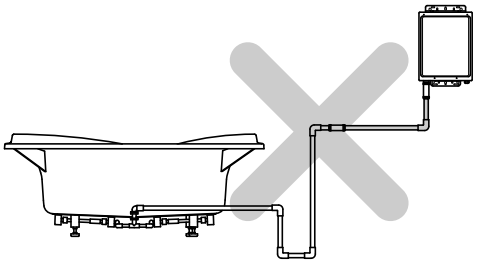
（作動不良の原因となります）

4 機能部は浴槽リム面よりも500mm以上高い位置に設置する
また、同時に配管は浴槽リム面から500mm以上の立ち上げ部を必ず設ける
なお、配管立ち上がり部は極力浴槽へ近づける
（エアが出るまでの時間が長くなります）



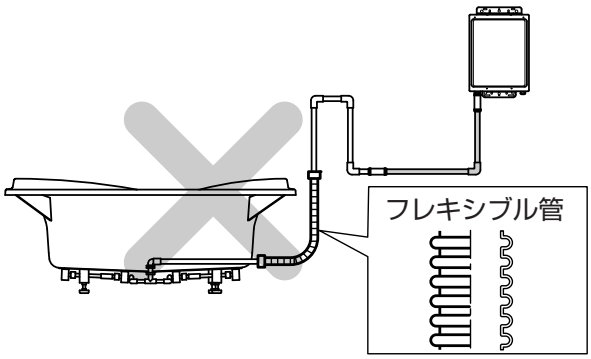
（感電・故障の原因となります）

5 下向きの鳥居配管はしない



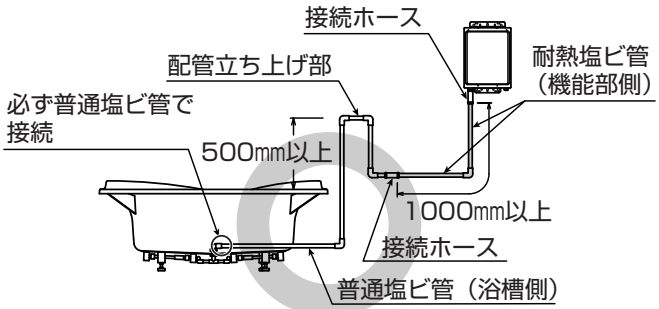
（作動不良の原因となります）

6 ジャバラ形状のフレキシブル管を接続配管として使用しない



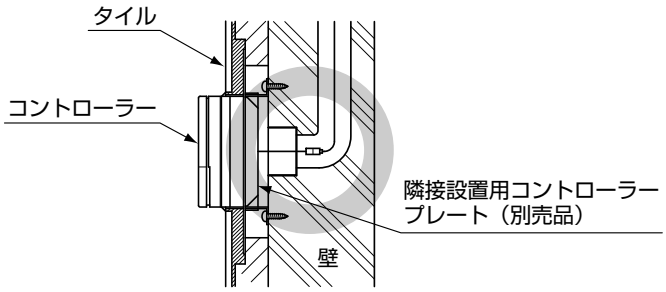
（ブロー運転時、異常音発生の原因となります）

7 エアブロー Ⅱ 機能部を屋外に設置する場合は、機能部側の配管に 1000mm 以上の耐熱塩ビ管を使用する



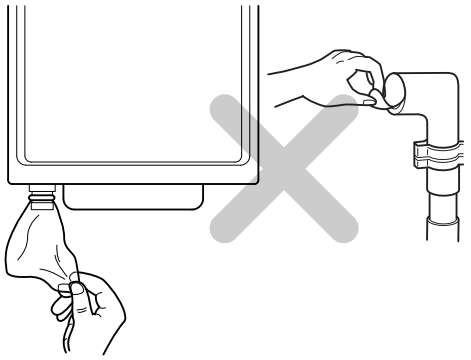
（接続管の劣化、破損の原因となります）

8 別売品の隣接設置用コントローラープレートを使用する場合は、タイル貼りの前に壁に埋込む施工をする



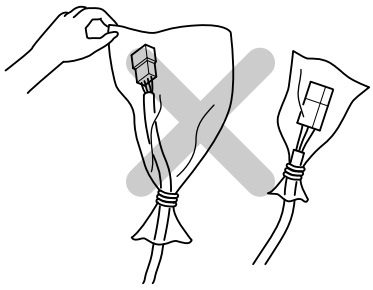
（施工できなくなります）

9 エアブロー Ⅱ 機能部および浴槽の配管継手部の保護材は、接続管の取付けまで取外さない



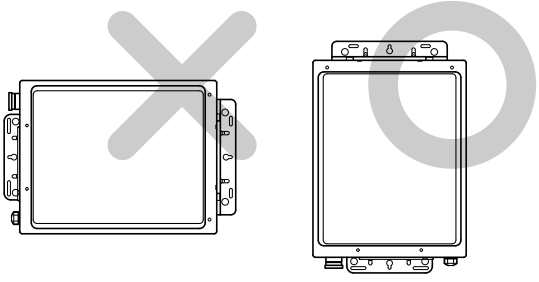
（配管内に土砂が入り、故障の原因になります）

10 コントローラーコードの保護材は、コードを接続するまで取外さない



（破損の原因になります）

11 機能部を横向きに取付けない

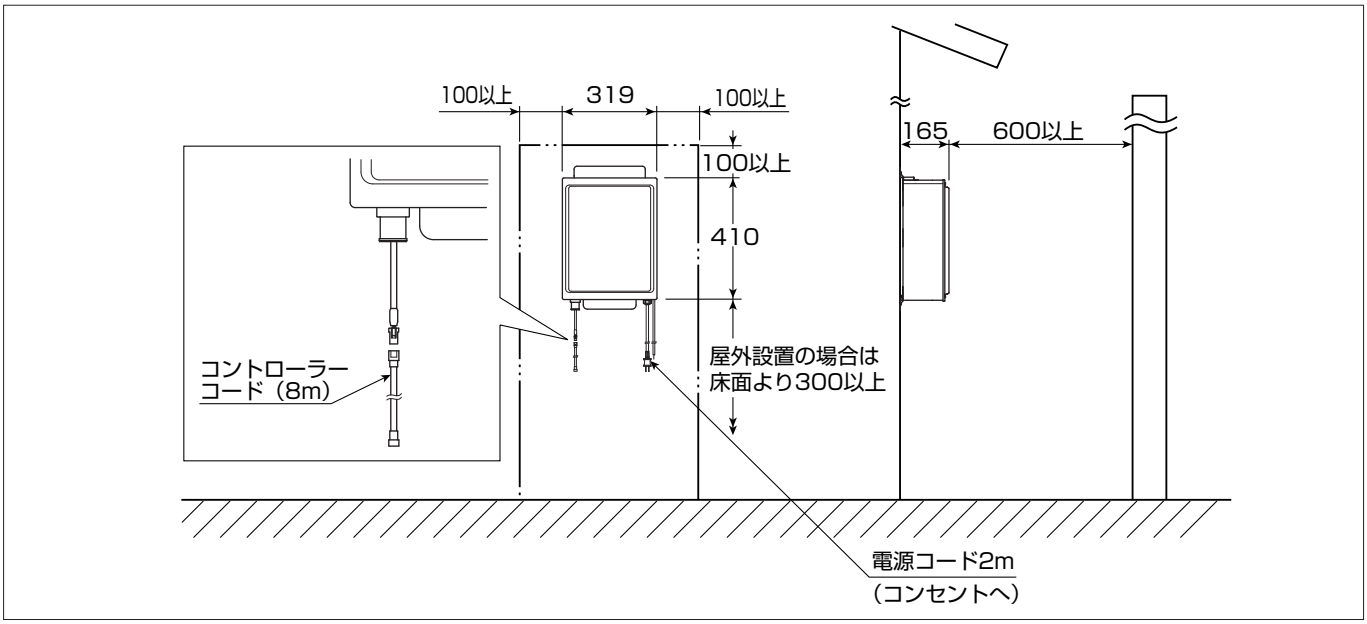


（故障の原因になります）

4−2 機能部設置場所の選定

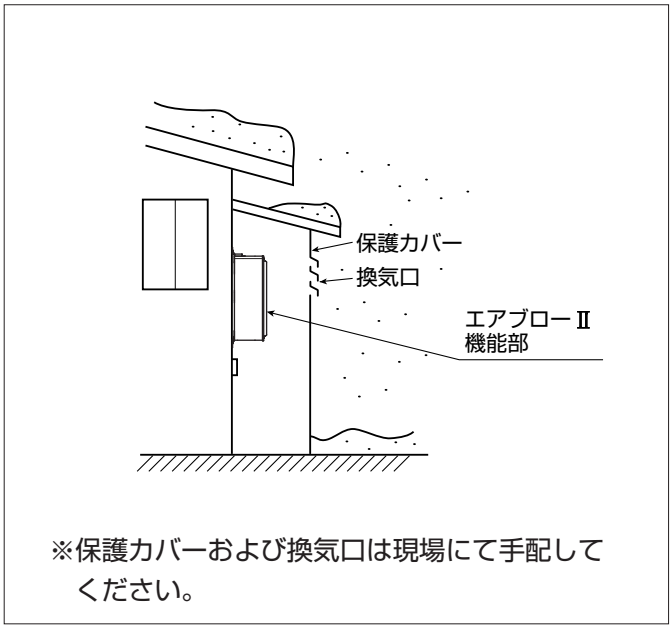
●機器の設置に当っては次の点にご注意ください。

- 機能部は屋内の浴室外または、屋外で換気の良い場所に設置してください。
- 取付け・保守点検のため 下記スペース を確保 してください。
- 機能部の設置位置は、電源コード（2m）、コントローラーコード（8m）の長さを考慮して決めてください。
  〔コントローラーコードの長さが足りない場合、浴槽据付け前にP.27の長尺コントローラーコード（別売品）に交換してください。〕
- 機能部の質量（7.2kg）に耐えられる 強度のある場所に設置 してください。



●エアブローⅡ機能部を次のような条件の屋外に設置する場合は、必ず保護カバーと換気口を設けてください。

①海岸地区（塩害による腐食などの防止）
②積雪が予想される地域



※保護カバーおよび換気口は現場にて手配してください。

5. 施工手順

6-1. 下地づくり～浴槽据付け

浴槽下地づくり

（1）ブロー防振ゴム脚 (注1) の取付け (P15)

（2）配管取出口の壁開口と防水処理（P15）

（3）コントローラー取付位置の確認 (P16)

隣接設置用コントローラープレート (注2) 下地づくり
（施工説明書は別売品付属）
①養生ボックス取付け・下地モルタル塗り
②養生ボックス取外し・壁穴加工
③埋込みボックス取付け

排水管取付け
浴槽据付け

6-2. 機能部の設置と接続

（1）エアブローⅡ機能部の設置／接続管の取付け (P17～P21)

長尺コントローラーコード (注3) への入れ替え

（2）電気工事（P22）

（3）確認・試運転・漏水確認（P23）

6-3. 仕上げ

浴槽固定
ブロック・レンガ立上げ

タイル仕上げ

ステーパイプセット (注4) の取付け(施工説明書は別売品付属)

（1）コントローラーの取付け（P24～P25）

（2）配管取出口カバーの取付け（P26）

6-4. 最終確認

試運転（P23・P26）

[ ] 囲み部は浴槽本体の施工です。
詳細については、浴槽本体の施工説明書を参照ください。

[ ] 囲み部は別売品の施工です。
下記の別売品のうち、必要部材を購入の上、施工してください。
くわしくはP.27の別売品一覧表をご覧ください。
また、別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって施工を行ってください。

別売品

（注１）ブローバス防振ゴム脚
（品番：PZ6002（4個入り）
PZ6048（5個入り））

（注２）隣接設置用コントローラープレート
2個用（品番：PZ6061）
3個用（品番：PZ6062）

（注３）長尺コントローラーコード15m
（品番：PZ6057）

（注４）ステーパイプセット
（品番：PZ6060）

6. 施工要領

6−1 下地づくり〜浴槽据付け

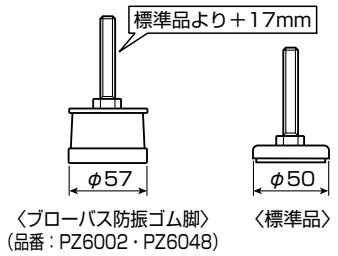
●浴槽の下地づくりの詳細は、浴槽本体の施工要領書を参照してください。

(1) ブローバス防振ゴム脚の取付け 別売品施工

別売品品番 { PZ6002（4個入り）
PZ6048（5個入り）

●ブローバス防振ゴム脚を使用する場合は、浴槽据付前に取付けを行ってください。

●ブローバス防振ゴム脚（別売品、品番：PZ6002（4個入り）・PZ6048（5個入り））を取付けた場合、脚部の高さが標準品より+17㎜高くなります。
また脚はアジャスターボルトになっており、ねじ込み代によっては高さが上記寸法にならない場合があります。台座、デッキならびに配管取出口などは、以上を考慮のうえ、設置してください。



●PZ6048はPV※1810、1820、1830、1840、1640、1650、1540専用です。（※はI・U・M・Z）

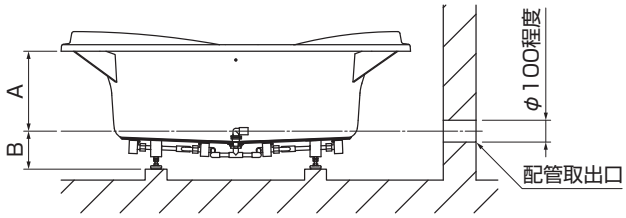
(2) 配管取出口の壁開口と防水処理

〔取出口の壁開口〕

●浴槽を据付位置に仮設置してください。

●エア配管の接続管取付部の基準高さを下の表に示します。浴槽・機能部の設置位置（P13参照）を考慮して接続管取出方向を決め、φ100㎜程度の穴を壁にあけてください。

注 あらかじめスリーブなどで壁に穴がある場合は不要です。



単位：mm

品番	PVI1840	PVI1830	PVI1820	PVI1810	PVI1800	PVI1710	PVI1700	PVI1650	PVI1640	PVI1630	PVI1620
A寸法	386	173	386	173	407	368	394	266	266	415	279
B寸法	204	337	204	337	177	172	176	294	294	173	230

品番	PVI1610	PVI1600	PVI1540	PVI1530	PVI1520	PVI1510	PVI1500	PVI1430	PVI1420	PVI1410	PVI1400
A寸法	399	366	390	390	390	391	404	420	424	392	363
B寸法	176	174	200	185	185	187	176	165	161	198	177

注 B寸法は出荷時の寸法で、浴槽アジャスター脚により微調整することができます。

〔壁開口部の防水処理〕

⚠ 注意

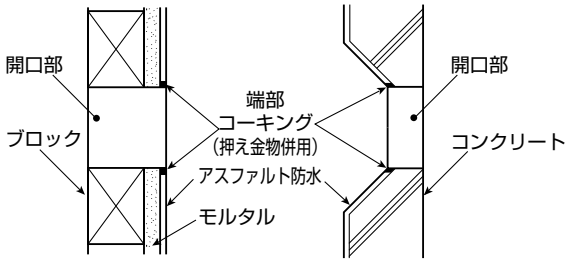
必ず実行

取出開口部の防水処理は、確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

下図にある防水処理例を参考にして、壁開口部の防水処理を行ってください。

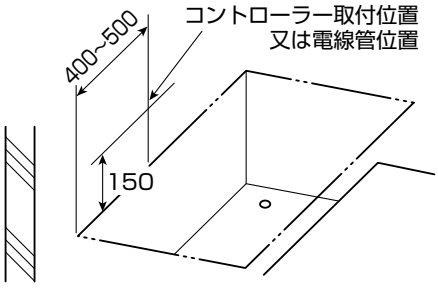
（防水処理例）

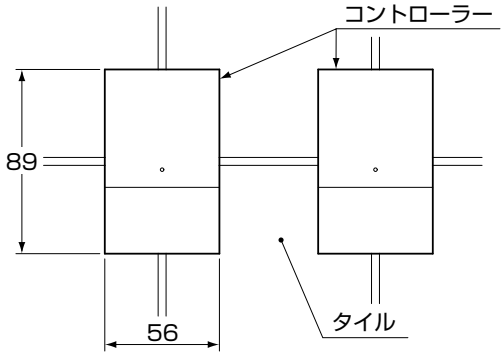


（3）コントローラー取付位置の確認

● タイル貼り基準・浴槽据付基準を確認考慮のうえ、浴槽の中および洗い場から容易に操作が行える位置にコントローラー取付位置墨を決めてください。

＜施工例＞

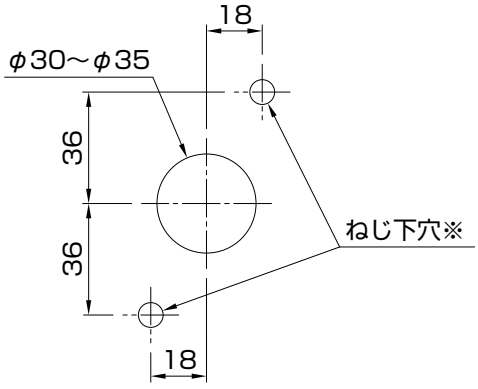




注 浴槽上面とコントローラー取付け芯は150mm以上離して取付けてください。
また、インテリアバーを取付ける場合は、コントローラーとの取合にご注意ください。

注 付属のコントローラーコードの長さは8mです。
8m以上必要な場合は、別売品の長尺コントローラーコード（P27参照）を使用してください。

＜壁けがき・穴あけ＞



コントローラー取付位置をけがき、取付け芯に穴φ30～φ35と、ねじ下穴（2ヶ所）をあけてください。

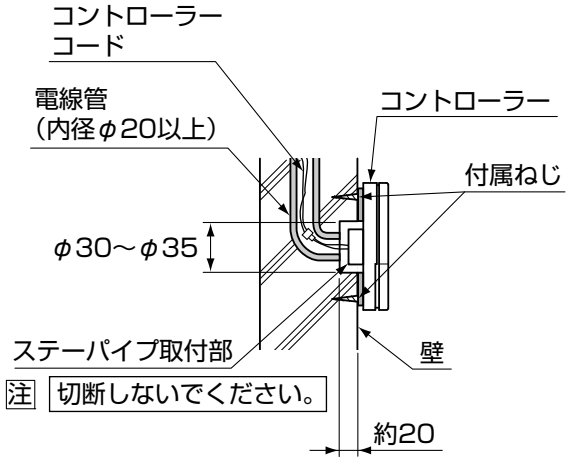
※ねじ下穴（2ヶ所）は、壁面に直接ねじで固定できる場合はφ2.8であけてください。

※壁材により、ねじが直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ（現場手配）を打込んでください。

・下穴はプラグのサイズに合せて穴あけしてください。

・プラグは、コントローラー付属ねじφ4×25に合ったものを使用してください。

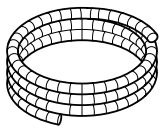
＜コントローラー取付け＞



事前準備部材（現場手配）

電線管（内径φ20以上）

※現場にあわせて必要な長さ、その他の必要部材を手配してください。



注 事前に壁内に電線管（内径φ20以上）を設置してください。
ステーパイプによる取付けを行う場合は、別売品のステーパイプセット（P27参照）を使用してください。取付方法は付属の説明書を参照してください。
配線を埋め込むと、メンテナンスができなくなります。

注 コントローラー本体のステーパイプ取付部を切断しないでください。コントローラー内部に水が入り故障するおそれがあります。

注 コントローラーコードはコネクター部を切断しないでください。

6−2 機能部の設置と接続

（1）エアブローⅡ機能部の設置／接続管の取付け

〔機能部の設置〕

⚠警告

必ず実行　**機能部の設置は、質量に十分耐える強度のある架台・天井または安定した土台に確実に行う**

工事に不備があると､機能部の落下･転倒によりケガをするおそれがあります。

必ず実行　**メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物にエアブローⅡ機能部を取付ける場合、機能部と造営物とは電気的に接続しない**

感電や発熱・火災の原因となります。

⚠注意

必ず実行　**機能部を設置する場合は、機能部側の配管には1000mm以上の耐熱塩ビ管を使用し、浴槽側には普通塩ビ管を使用して耐熱塩ビ管と普通塩ビ管は必ず同梱の接続ホースで接続する**

指定以外の接続管を使用すると接続が劣化破損し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

機能部から浴槽までの配管の長さが、1曲り＝1mと換算して20m以内となるように機能部を設置してください。

〈例〉5曲り 15m以内

配管長さ	18m	16m	14m	12m	10m
曲り	2曲り	4曲り	6曲り	8曲り	10曲り

機能部は浴槽リム面よりも500mm以上高い位置に設置してください。（浴槽水の逆流防止に必要な施工です）

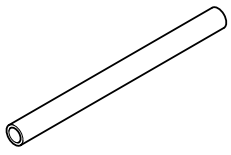
立ち上げ部は極力浴槽に近い位置に設けてください。

（浴槽から遠くなると配管内の残水量が多くなりエアが出るまでに時間がかかったり、湯温低下の原因となることがあります。）

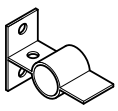
●事前に現場の状況に応じて、下記部材を必要数量準備してください。

事前準備部材（現場手配）

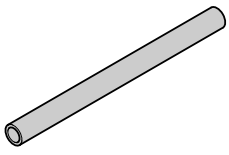
普通塩ビ管（ＶＰ20）



配管支持材

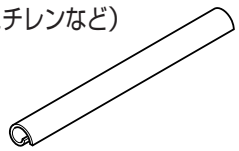


耐熱塩ビ管（ＨＴＶＰ20）



普通塩ビ用接着剤※

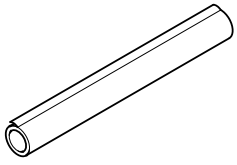
緩衝材（発泡ポリエチレンなど）



耐熱塩ビ用接着剤※

TS継手（20Ａ）

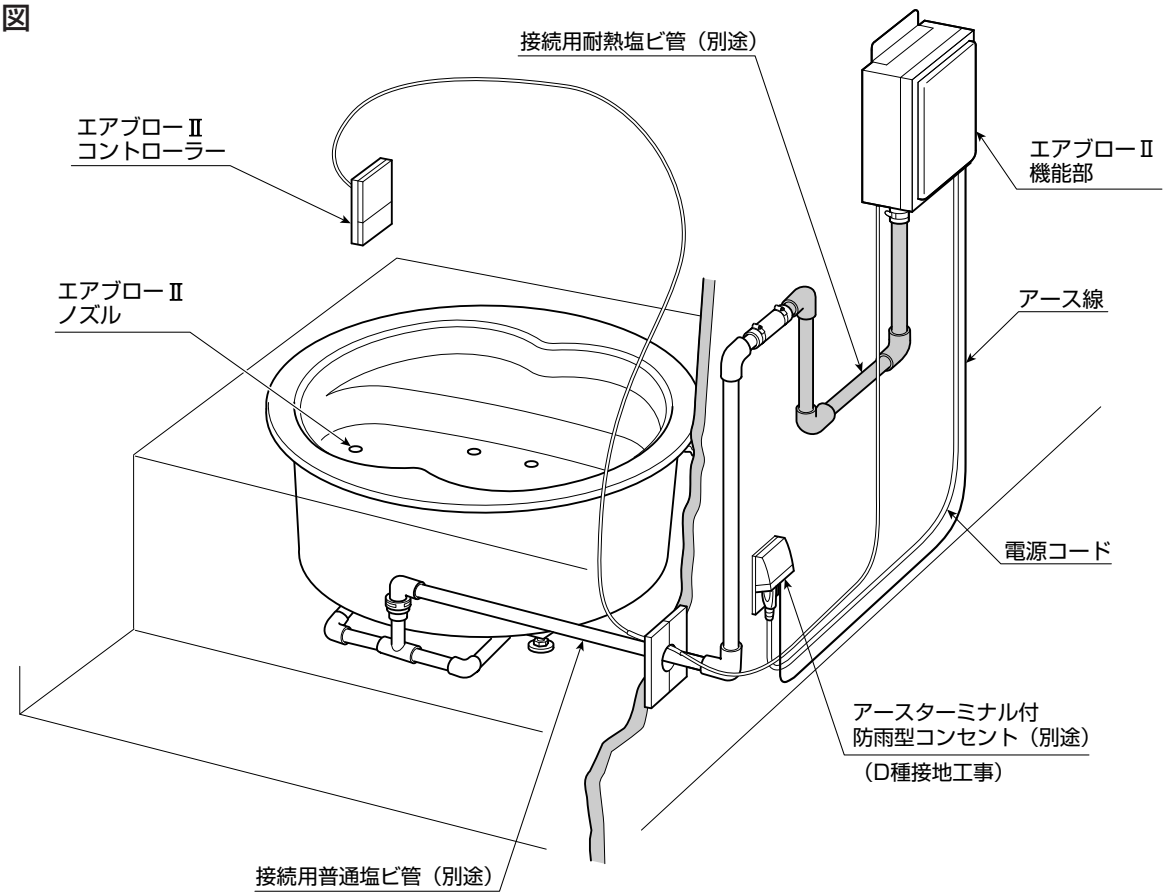
配管保温材



HTTS継手（20Ａ）

※配管の接続に使用する接着剤は塗り忘れを防止するため、できるだけ色付きのものを使用してください。

●設置図



●コントローラーと機能部をつなぐコントローラーコードの長さは８ｍです。機能部はコードが接続可能な範囲で取付けてください。コード長さが足りない場合、浴槽据付け前に別売品の長尺コントローラーコード（P27参照）に交換してください。

●機能部の電源コードの長さは２ｍです。コードの届く範囲でコンセントや機能部を設置してください。

●機能部は浴室外で点検の可能な換気の良い場所に設置してください。

●機能部は屋外設置可能ですが、次のような条件では、機能部に保護カバーを取付けてください。

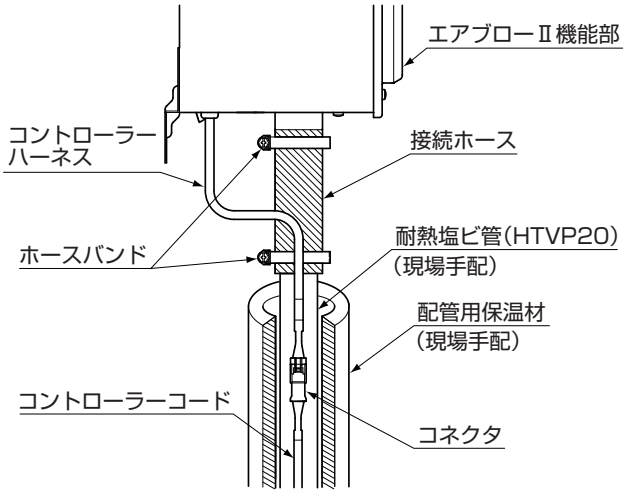
① 海岸地区（塩害による腐食などの予防）

② 積雪が予想される地域

（くわしくは、P13をご参照ください。）

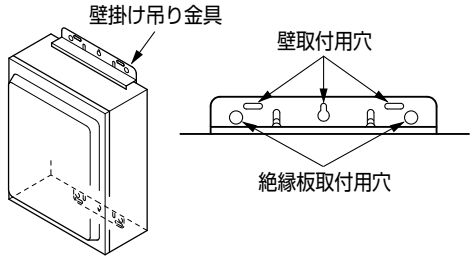
●機能部を屋外へ設置する場合は、コントローラーコードのコネクターを配管と一緒に保温材へ包んでください。

コントローラーコードが引っ張られ、故障の原因となります。

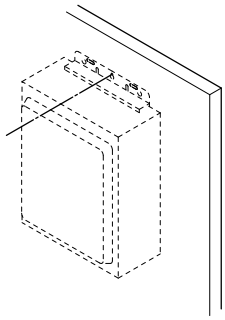


●取付けに必要なねじは現場にて適切なねじを準備してください。

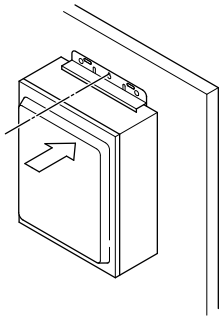
① ねじの取付位置は壁取付用と絶縁板取付用があります。



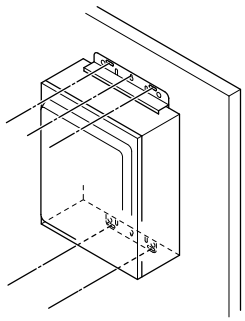
② 壁に取付位置を決め、ねじを仮止めしてください。



③ 電源ボックスをねじに引掛けてください。



④ 電源ボックスの水平を出し､上側３本､下側２本の 計５本のねじ を壁取付用穴から止めてください。



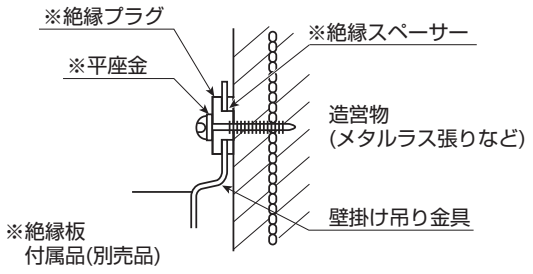
〈メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物の場合〉

絶縁板の取付け 別売品施工

電気設備技術基準により、メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電気機器を取付ける場合、機器と造営物とは、電気的に接続しないように施設 しなければなりません。

したがって、右図のような施工が必要となります。

● 絶縁板取付けの詳細は、別売品絶縁板（品番ＲＨＧ696）の施工説明書をご参照ください。



注 絶縁板の取付けは、壁掛け吊り金具の絶縁板取付用穴を使用してください。

〔接続管の取付け〕

⚠注意

必ず実行

接続管の取付けは、手順にしたがって確実に行う

工事に不備があると漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

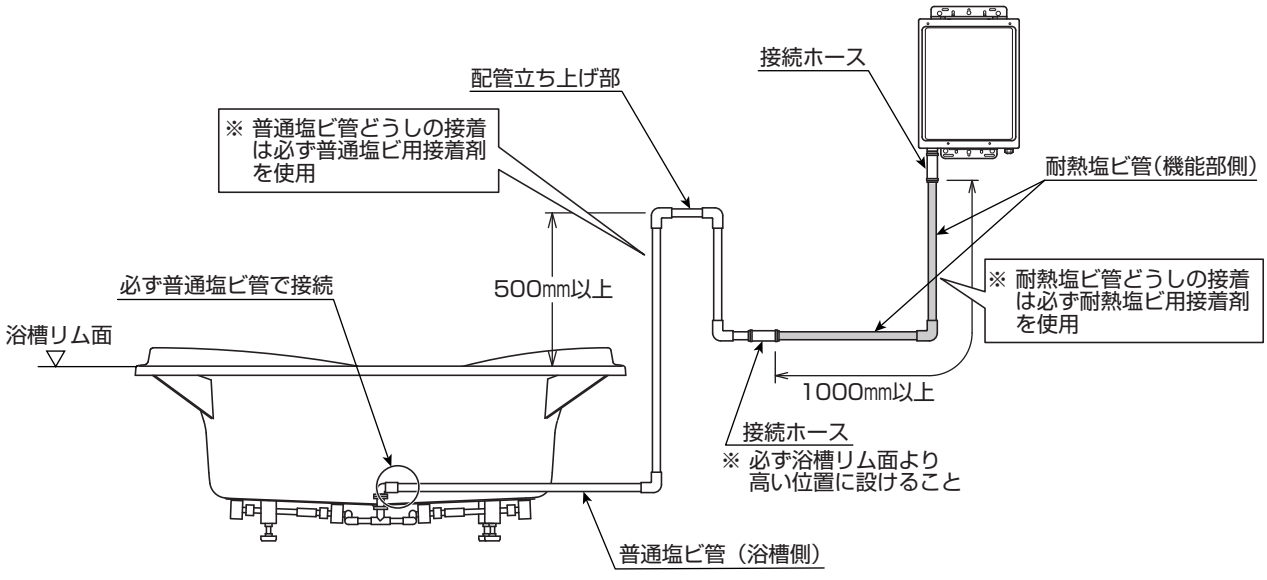
必ず実行

接続管途中の極力浴槽に近い位置に、必ず浴槽リム面から500mm以上の立ち上げ部を設ける

工事に不備があると機能部が故障するだけでなく漏水し、家財などを汚したり腐らせるおそれがあります。

施工のポイント

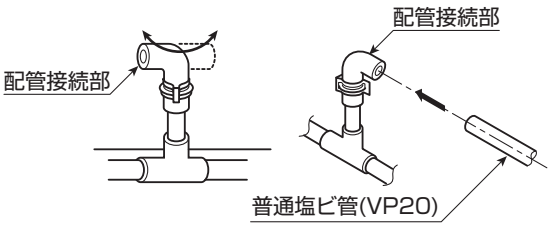
●接続する前に配管内の砂・ゴミを取除いてください。
●配管長さは 1曲り＝1mと換算して20m以内 です。配管途中が下がらないよう支持をしてください。
●機能部は浴槽リム面よりも500mm以上高い位置に設置してください。
●配管には 必ず500mm以上立ち上げ部を設けて ください。また立ち上げ部は 極力浴槽に近い位置に設けて ください。ただし、機能部を浴槽リム面より500mm以上に設置の場合エア配管の立上げは不要です。
●配管の接続に使用する接着剤は塗り忘れを防止するため、できるだけ色付きのものを使用してください。
●接続管用塩ビ配管部材（ＶＰ20（直管）・ＴＳ継手（20Ａ）・普通塩ビ用接着剤）は現場で手配してください。
●普通塩ビ管どうしを接着する場合は、必ず普通塩ビ用接着剤を使用してください。
●機能部を設置する場合は、耐熱塩ビ管（ＨＴＶＰ20）を必ず1000mm以上使用してください。なお、耐熱塩ビ管（ＨＴＶＰ20、直管）ＨＴＴＳ継手（20Ａ）、耐熱塩ビ用接着剤は現場で手配してください。
●耐熱塩ビ管どうしを接着する場合は、必ず耐熱塩ビ用接着剤を使用してください。
● 普通塩ビ管と耐熱塩ビ管は絶対に接着剤で接続しないでください。 接続ホースを必ず使用して接続してください。
●浴槽側の配管は 普通塩ビ管（ＶＰ20）を必ず使用して ください。
●屋外に露出する接続管部については、保温材等を巻いて保護してください。
●ホース接続部は必ず、浴槽リム面より高い位置に設けるとともに、メンテナンスできる位置に設けてください。



●エア配管と接続管の接続

配管接続部は回転しますので、接続管取付の方向に合わせてください。

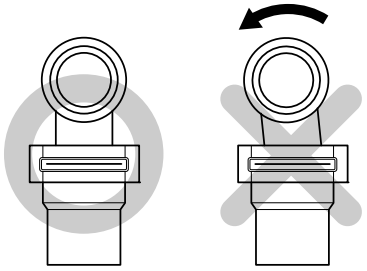
注 配管接続部は、取外さないでください。
漏水の原因となります。



配管接続部に塩ビ管を差込み、長さを合わせてください。

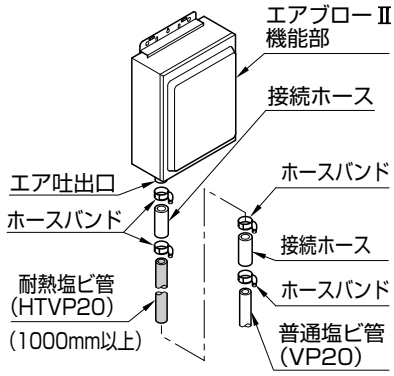
注 浴槽側配管接続部と普通塩ビ管は普通塩ビ用の接着剤（着色品）を使用して接着してください。

注 配管接続部にねじれの力が加わらないように最後に接着してください。



●機能部と接続管の接続

機能部エア吐出口と耐熱塩ビ管（ＨＴＶＰ20）を付属の接続ホースでつなぎ、また、耐熱塩ビ管（ＨＴＶＰ20）と普通塩ビ管（ＶＰ20）も同様につないでください。ホースバンドはドライバーなどで確実に締付けてください。

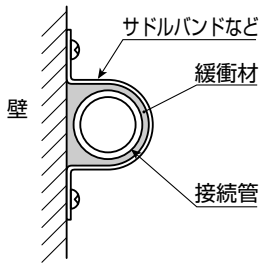


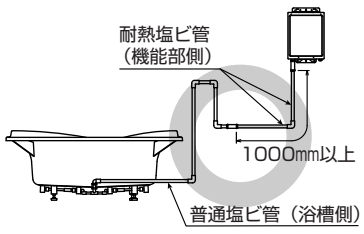
●接続管の施工

接続管が下がらないように配管支持材にて支持してください。

注 配管の支持をする場合緩衝材を使用してください。ブロー運転時、異常音発生の原因となります。

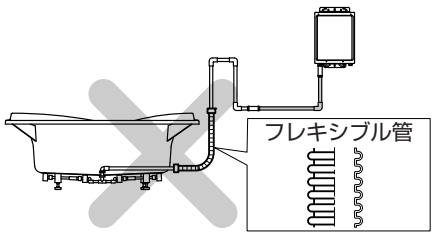
〈例〉





機能部を設置する場合は 機能部側の配管に1000mm以上の耐熱塩ビ管 を使用してください。

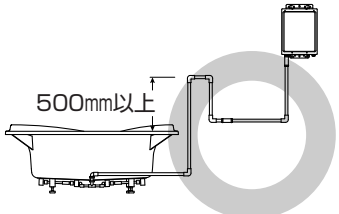
接続管の劣化、破損の原因となります。



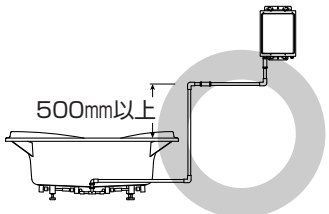
ジャバラ形状のフレキシブル配管を接続配管として使用しないでください。

ブロー運転時、異常音発生の原因となります。

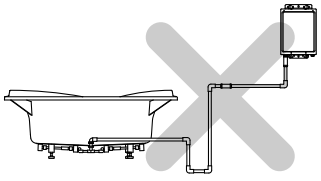
〈施工例〉



5曲り・15m以内



5曲り・15m以内



下向きの鳥居配管にすると
作動不良の原因となります。

(2) 電気工事

⚠警告

必ず実行

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、必ず「有資格者(電気工事士)」が行う
D種接地工事を行ったアースターミナル付コンセントまたはアースターミナル付防雨型コンセントを使用する

誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

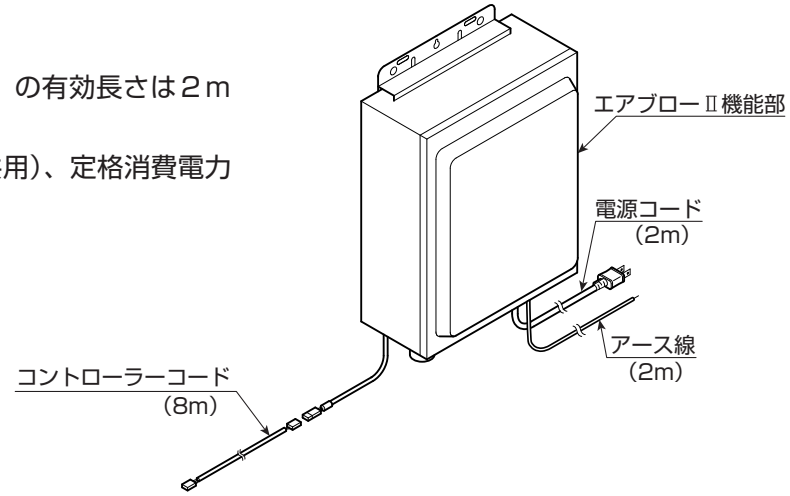
禁　止

電源コードの加工や延長コードの使用、また、他の器具とのタコ足配線をしない

感電や発熱・火災の原因となります。

電気工事

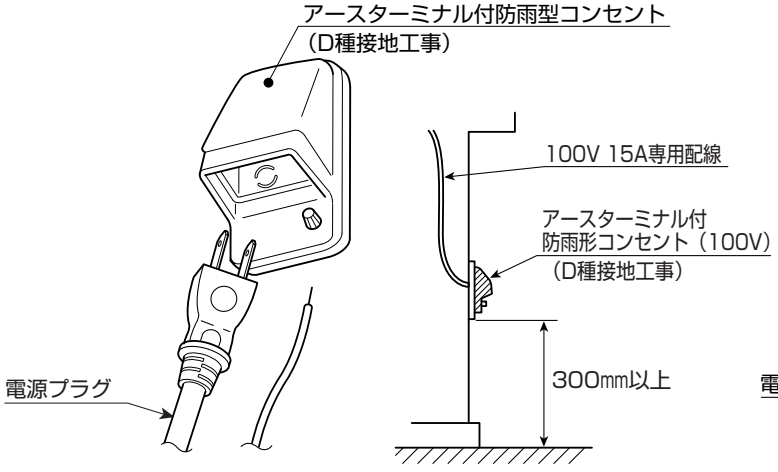
① 電源コードおよびアース（機能部にセット）の有効長さは２ｍです。
この機能部の電源は交流100Ｖ（50/60Hz共用）、定格消費電力は175Wです。



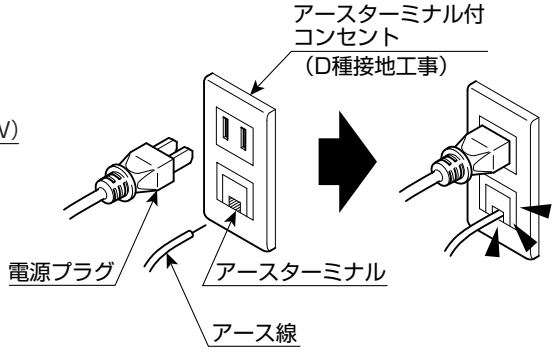
② 電源コードの届く範囲内にＤ種接地工事を行ったアースターミナル付コンセントまたは アースターミナル付防雨型コンセント（屋外設置の場合） を設けてください。接地極付100Ｖ　15Ａの専用 コンセントを使用 してください。

※ 同一コンセントより照明器具などを使用されますと、運転時の起動電流により照明のチラツキや他機器の誤動作の原因となります。

〈屋外設置の場合〉



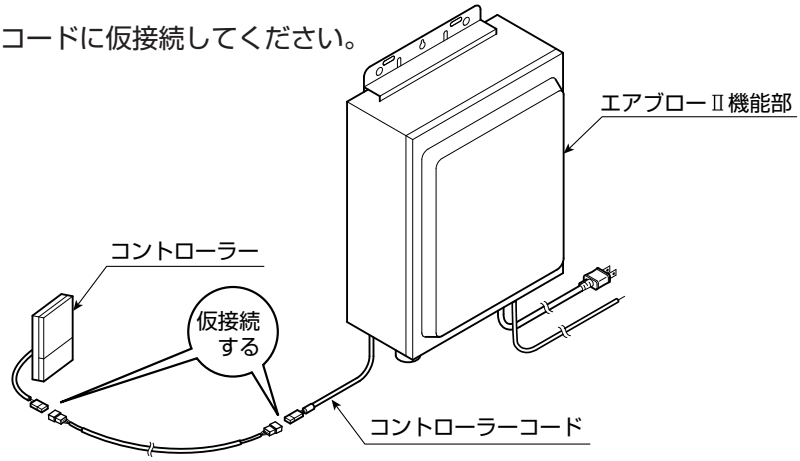
〈屋内設置の場合〉



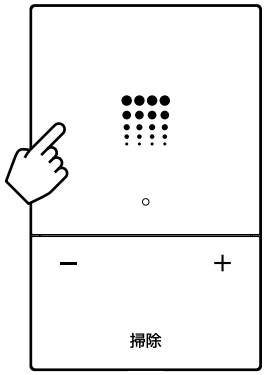
（3）確認・試運転・漏水確認

●以下の手順で試運転を行ってください。

① コントローラーを機能部のコントローラーコードに仮接続してください。

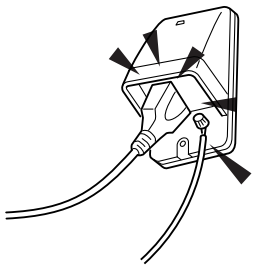


② 電源プラグを確実にコンセントに差込んでください。
③ 浴槽の半分くらいまで給水してください。
注 満水にすると、エアブロー運転時に水がリムからあふれます。
④ コントローラーのメインスイッチを押してください。コントローラーが点灯し、エア噴出が始まります。
⑤ 作動に異常がないか確認してください。
⑥ 接続管から エア漏れがないか確認 してください。
⑦ メインスイッチを押してエア噴出を止め、接続管から 漏水がないか確認 してください。
⑧ 再びメインスイッチを押し、エアを噴出させながら浴槽内の水を排出してください。
⑨ エア噴出は約15分後、自動的に停止します。
途中で止める場合は、メインスイッチを押してください。
⑩ 確認が終わりましたら、仮接続していたコントローラーをコントローラーコードから取り外してください。



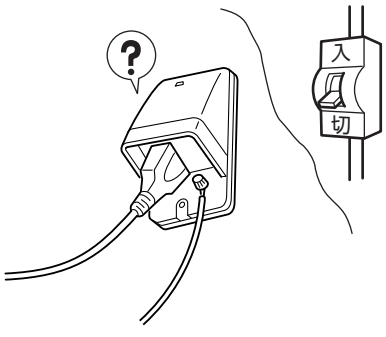
● 上記試運転で作動しない場合、すぐ故障と決めつけず、次のことを確認してください。

1 電源プラグは確実にコンセントに差込まれていますか?



（処置方法）
電源プラグを正しく差込んでください。

2 電源電圧は正規にきていますか？



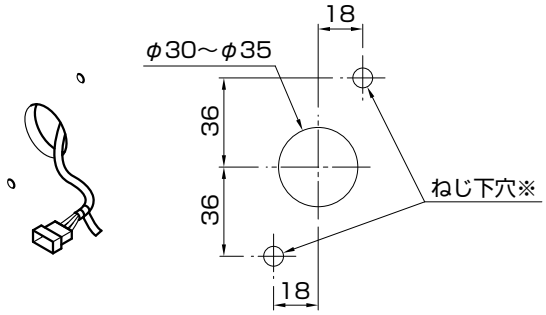
（処置方法）
電源電圧を確認してください。

6−3 仕上げ

●浴槽の仕上げの詳細は、浴槽本体の施工要説明書を参照してください。

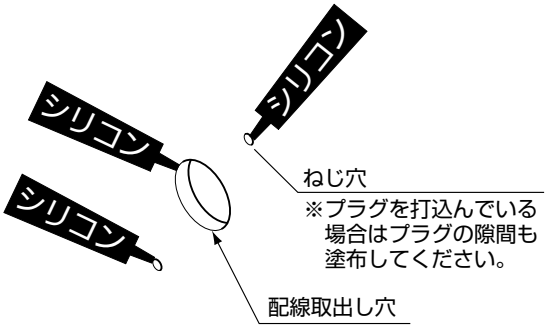
（1）コントローラーの取付け

①機能部側より引き込んだコントローラーコードを取り出します。



※ねじ下穴（2ヶ所）は、壁面に直接ねじで固定できる場合はφ2.8であけてください。
※壁材により、ねじが直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ（現場手配）を打込んでください。
・下穴はプラグのサイズに合せて穴あけしてください。
・プラグは、コントローラー付属ねじφ4×25に合ったものを使用してください。

②配線の取出し穴の全周と、ねじ穴にシリコンを塗布します。



③コネクタを接続し、コントローラー付属ねじでコントローラーを固定します。
※取付けの際、水平を確認しながら傾きがないように取付けてください。

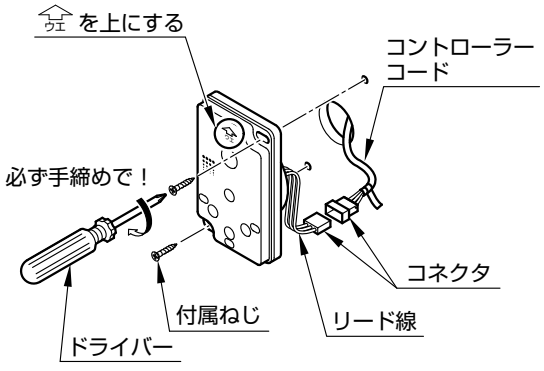
⚠注意

電動ドライバーは使用しない

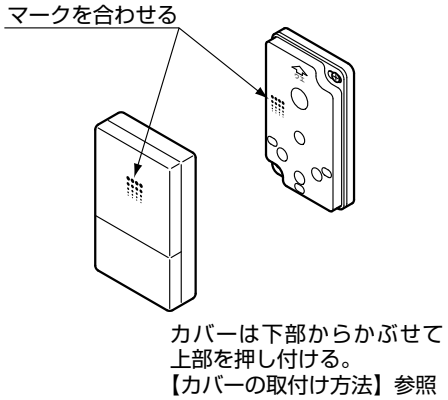
強く締め過ぎると破損します。

⚠注意

コントローラーコードと、コントローラーのリード線のコネクターの色・芯数・名称タグを合わせて接続する



④コントローラーカバーを取付けます。
※取付けの際、カバーを間違えないように注意してください。



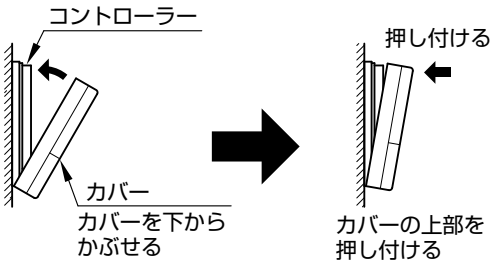
⚠注意

コントローラーの外周はコーキングしない

カバーが外れなくなります。

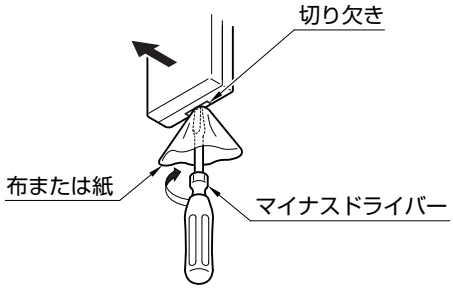
【カバーの取付け方法】

※コントローラーカバーは確実に取付けてください。
操作できなくなります。



【カバーの取外し方法】

※カバーを取り外すときは、傷がつかないように布や紙
をあてたマイナスドライバーで軽くひねってください。



(2) 配管取出口カバーの取付け

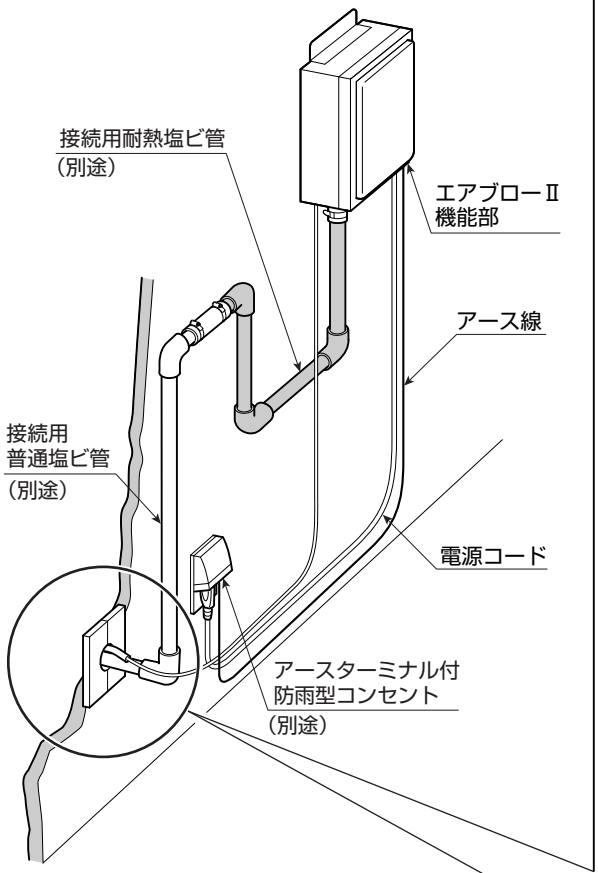
⚠注意

禁　止

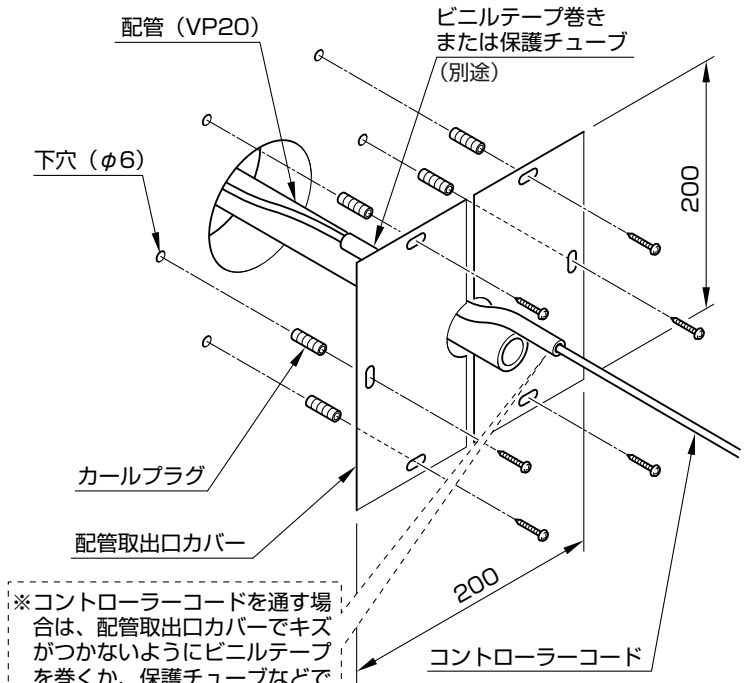
モルタルなどで取出口を埋め込まない

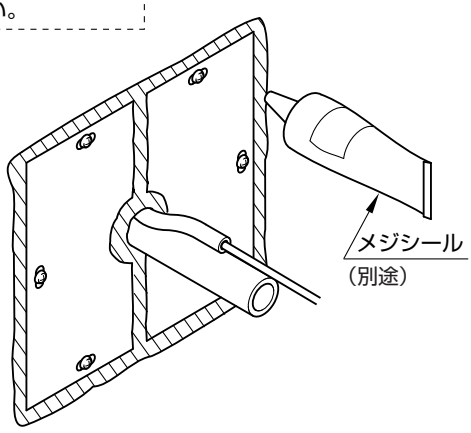
ブロー運転時の騒音の原因となります。また、メンテナンスできなくなります。

●配管取出口を付属のカバーでふさいでください。



●配管取出口カバーをねじなどで固定し、配管取出口カバーのすきまをコーキングしてください。



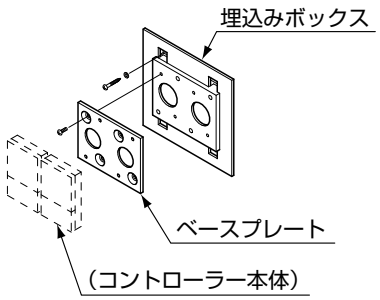
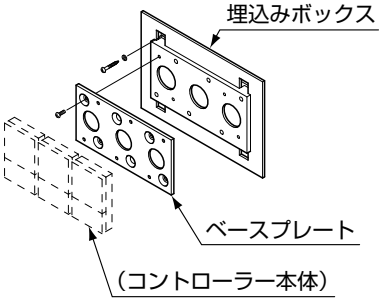
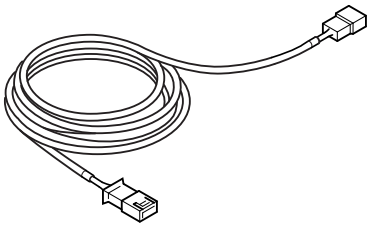
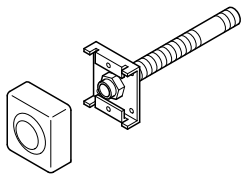
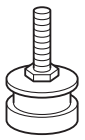
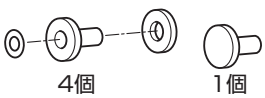


6−4 最終確認

●全ての施工が完了したら、P.23「確認・試運転・漏水確認」の要領で再度試運転・確認を行ってください。

7. 別売品

● 別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって取付工事を行ってください。

品　名	品　番	希望小売価格	必要数/台	形　状	用　途
隣接設置用 コントローラープレート (2個用)	PZ6061	¥ 20,000 (税込¥21,000)	1		コントローラーをタイル壁などに隣接（隙間約5mm）して設置する場合に使用します。
隣接設置用 コントローラープレート (3個用)	PZ6062	¥ 22,000 (税込¥23,100)	1		
長尺コントローラー コード（15m）	PZ6057	¥ 10,000 (税込¥10,500)	1		エアブロー機能部とコントローラーが付属の8mのコントローラーコードではとどかない場合に使用します。 (付属コードと入れ替えて使用)
ステーパイプセット	PZ6060	¥ 2,300 (税込¥2,415)	1		コントローラーを壁に取り付けるときに、最大壁厚220mmまで対応可能なステーパイプのセットです。
長尺ステーパイプ	FH77	¥ 3,000 (税込¥3,150)	1		壁の厚みが220mm以上の場合、最大壁厚400mmまで対応可能なステーパイプです。
ブローバス防振ゴム脚	PZ6002 (4個入り)	¥ 23,000 (税込¥24,150)	1		エアブロー運転中の作動音が階下や隣室に伝わるのを防ぐために使用します。
	PZ6048 (5個入り)	¥ 28,800 (税込¥30,240)			
絶縁板	RHG696	¥ 320 (税込¥336)	1		壁と壁掛け式機能部とを絶縁するためのセットです。